

※今月のみ受注の書目です。

本書は、2025 年 2 月号にてご案内しておりますが、前回のご案内からだいぶ時間が経ってしまったこともあり、再度ご注文いただければ幸いです。

政治思想

独裁と喝采

カール・シュミット〈民主主義〉論の成立

(2025 年 9 月中旬刊行予定)

松本彩花 (北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院講師) [著]

A5 判上製 / 488 頁 税込予価 6,600 円 ISBN978-4-7664-3009-7 C3031

👉 ココに注目!

- ・思想家カール・シュミットの特異な民主主義論はいかに形成されたのか。
- ・日記や最新の論考を用いながら、その形成過程を探る画期的論考。

ヴァイマル期ドイツの思想家カール・シュミット。彼の特異な民主主義論はどのようにして形成されたのか? 日記、講義録や未公開の資料、最新の海外の論考等を用い、民主主義に関するシュミットの思想的発展を初期まで遡り、統一的に解明する画期的論考。

対象 (政治学・ヨーロッパ思想を専攻する) 研究者、大学院生

類書 古賀敬太『カール・シュミットとその時代』(みすず書房)

【営業部からのおすすめポイント】

権威主義体制の国が増え、ポピュリズムが多くの国を覆いつつある現在、再検討の機運が高まるシュミット。「人民の意志」を究極の正統性根拠とし、それに支えられた指導者に対して人民が喝采し協賛すること、という特異な民主主義思想はどのように形成されたのでしょうか。日記や草稿を参照し、同時代のケルゼンらの論考や最新の研究から精緻に分析した注目の一冊です。

(福本)

👉 目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【目次】

序 論

第一章 国家・個人・法学方法論

——シュミット民主主義論の諸前提（1910－1919年）

第二章 独裁と民主主義

——シュミット独裁研究とその前提条件（1915－1921年）

第三章 政治神学・人民主権・主権独裁

——シュミットの民主主義的正統性論（1922年）

第四章 主権独裁と民主主義

——民主主義論の展開（1923－1926年）

第五章 人民投票モデル・喝采・カリスマ概念の継承

——民主主義論の新たな展開（1927年）

第六章 『憲法論』における民主主義的同一性原理

——民主主義論の完成（1928年）

終 章



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			松本彩花 著 独裁と喝采 ーカール・シュミット〈民主主義〉論の成立 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 3 0 0 9 - 7 C 3 0 3 1	6,600 円	★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			細谷雄一・板橋拓己 編著 民主主義は甦るのか？—歴史から考えるポピュリズム I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 9 4 6 - 6 C 3 0 3 1	2,200 円
			川崎修・萩原能久・出岡直也 編著 アーレントと二〇世紀の経験 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 4 4 0 - 9 C 3 0 1 0	3,960 円
			アンドレアス・ヴィルシング、バルトルト・コーラー、ウルリヒ・ヴィルヘルム 編／ 板橋拓己・小野寺拓也 監訳 ナチズムは再来するのか？—民主主義をめぐるヴァイマル共和国の教訓 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 6 0 6 - 9 C 1 0 2 2	1,980 円